

新年度が始まる前に 心理検査を学ぼう

2019
～2020

昨年度、冬に開催しました心理検査の研修会を、今年度も開催いたします。
今回は、春から秋に開催しました別の検査の研修会同様、実施編と解釈編の2部構成となっております。
「次の就職先で心理検査を実施しなければならないが、それほど経験がない」
「今の職場では心理検査を使わないものの、結果や所見を見て理解できるよう学んでおきたい」
など、初学者の方や不安を感じておられる方は、ぜひ一度ご参加ください！

I 実施法・スコアリング研修

各検査について、基本的な実施法やスコアリングの基礎を学びます。

- 第1回：11月4日（月・祝）おさえておきたい『WAIS-IV』
- 第2回：12月15日（日）おさえておきたい『PFスタディ』
- 第3回：1月19日（日）おさえておきたい『バウムテスト』
- 第4回：2月16日（日）おさえておきたい『風景構成法』
- 第5回：3月15日（日）公開スーパーヴィジョン（特別講師）

時間： 全日 10:00～12:00

参加費： 全5回申込み 11,000円
単回申込み 第1回～第4回 各 3,000円
第5回 4,000円

II 解釈研修

各検査について、結果をどのように理解し、理解を生み出すか、解釈の基礎を学びます。

- 第1回：11月4日（月・祝）おさえておきたい『WAIS』
①WAIS-IV（13:00～15:00）②WAIS-III（15:30～17:30）
※いずれか一方をお選びください
- 第2回：12月15日（日）おさえておきたい『PFスタディ』
- 第3回：1月19日（日）おさえておきたい『バウムテスト』
- 第4回：2月16日（日）おさえておきたい『風景構成法』
- 第5回：3月15日（日）公開スーパーヴィジョン（特別講師）

時間： 全日 13:00～15:00（第1回を除く）

参加費： 全5回申込み 11,000円
単回申込み 第1回～第4回 各 3,000円
第5回 4,000円

定員 各回 15人（先着）

参加者
要件

臨床心理士または臨床心理士の受験資格がある方、
臨床心理士を養成する大学院生、公認心理師

会場

大阪・京都こころの発達研究所 葉（よう）高槻オフィス
〒569-1123 大阪府高槻市芥川町3丁目2-24
（JR高槻駅より徒歩5分、阪急高槻市駅より徒歩15分）

お申し
込み

ホームページのお申込みフォームより、お申込みください。
申込み受理後に、振込先をご連絡させていただきます。



大阪・京都こころの発達研究所 葉（よう）
<https://kokoro-you.com/>

詳細は裏へ

☆ 各回の内容

日程	内容
第1回 11月4日(月・祝) 講師: 浜内彩乃 I部 10:00~12:00 II部 ①13:00~15:00 ②15:30~16:30	「おさえておきたいWAIS」 知能検査の代表格であるウェクスラー式検査について、単に結果の数値だけを読み取るのではなく、検査実施時の受検者の取り組み、そして検査者とのやりとりを結果にどのように結びつけて理解することができるのか、そのコツをお伝えします。 II部の解釈編では①ではWAIS-IV、②ではWAIS-IIIを取り上げます。ご参加はいずれか一方となります。
第2回 12月15日(日) 講師: 星野修一 I部 10:00~12:00 II部 13:00~15:00	「おさえておきたいPFスタディ」 児童臨床で使用されることの多い検査のイメージですが、年齢層を問わず、有用な情報を得ることができるのが本検査です。他者との葛藤場面で対人文脈をどのように理解するのか、内側で生じてきたアグレッションを処理するパターンはなにか、今後、その人がどのように対人関係を変化させていくとよいのか、などです。今回は実施法のコツや検査数値やローデータの読み取りなど、総合的な検査理解を目指します。
第3回 1月19日(日) 講師: 長田岳大 I部 10:00~12:00 II部 13:00~15:00	「おさえておきたいバウムテスト」 木を描く、という一見単純に見える心理検査ではありますが、そこには多くの情報があります。描かれた木を理解するうえで、形式的・内容的解釈の知識はもちろん必要ですが、それ以上に、実施状況や検査時の様子、PDIを含め検査者とのコミュニケーションの中で得られる情報は、結果を理解するうえで不可欠です。総合的に理解するためのコツをお伝えします。
第4回 2月16日(日) 講師: 星野修一 I部 10:00~12:00 II部 13:00~15:00	「おさえておきたい風景構成法」 風景構成法は、中井久夫氏により統合失調症者の内的世界を理解するために、箱庭療法にヒントを得て考案されました。現在では、内的世界を理解する目的のみならず、描くアイテムの構成の仕方や描き方によって、発達障害やパーソナリティの成熟度などをアセスメントする目的で使用されることがあります。今回は基本的な実施法から解釈まで、本法の理解を深めていきます。
第5回 9月8日(日) 講師: 岸本和子 I部 10:00~12:00 II部 13:00~15:00	「公開スーパーヴィジョン (特別講師)」 臨床経験豊富な心理士が、個別の検査結果やデータと、主訴や行動観察などをどのように読み取り、どのようにクライアントや受検者の見立てを練り上げていくかについて、スーパーヴィジョンを通して学びます。実際の事例を素材とした、心理検査のスーパーヴィジョンを体験できる機会はなかなかありませんので、ぜひご検討ください。講師は京阪病院の岸本先生にご担当いただきます。

☆ 講師紹介 (五十音順)

講師名	所属・経歴
岸本和子	臨床心理士。医療法人西浦会京阪病院。 保健センターや教育センター、老人保健施設などで臨床実践あり。 長年心理アセスメントの研鑽を積み、心理検査のSVや学会発表を行っている。
長田岳大	臨床心理士。 精神科クリニック、私設カウンセリングルームなどで、臨床実践あり。
浜内彩乃	臨床心理士、社会福祉士、精神保健福祉士。 精神科クリニック、市役所発達相談などで、臨床実践あり。
星野修一	臨床心理士。 精神科病院、私設カウンセリングルームなどで、臨床実践あり。